

# 第10章 地域福祉

## 1 地域の中で困ったときに相談したり、頼ったりできる人

(1) 地域の中で困ったときに相談したり、頼ったりできる人〔複数回答〕

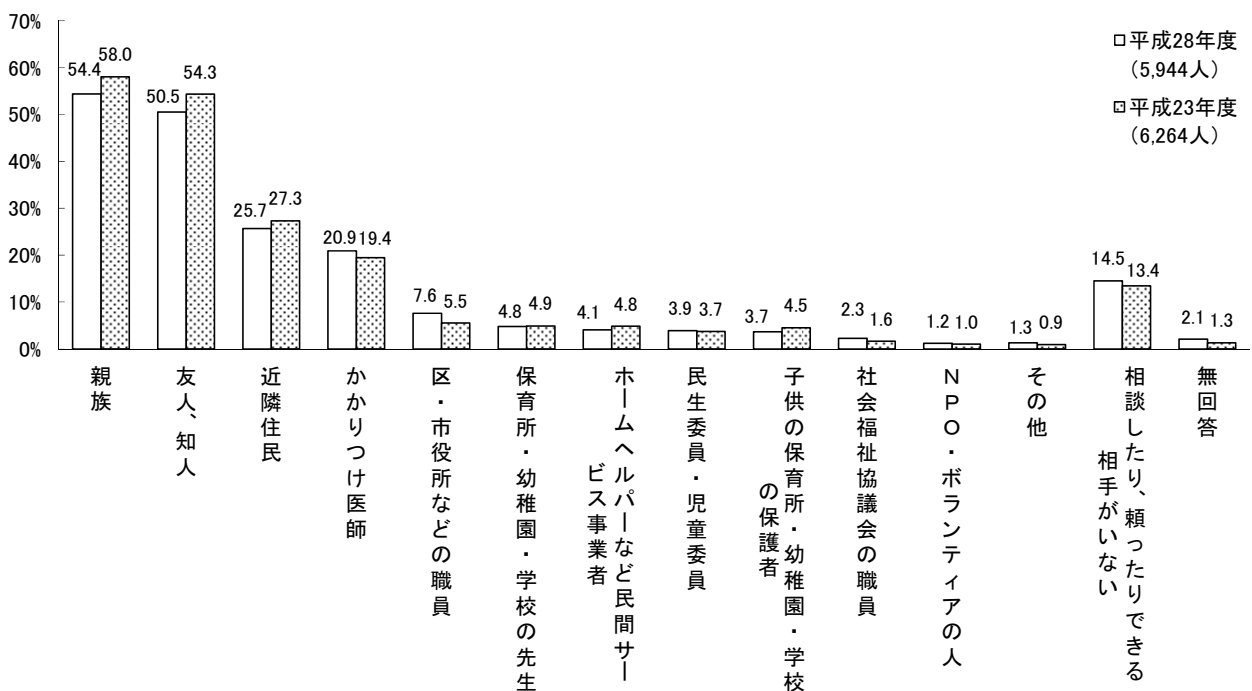
－平成23年度調査との比較

「親族」と「友人、知人」が5割

現在、住んでいる地域に、困ったときに相談したり、頼ったりできる人はいるか聞いたところ、「親族」の割合が54.4%で最も高く、次いで「友人、知人」が50.5%で、5割以上となっている。一方、「相談したり、頼ったりできる相手がいない」は14.5%となっている。(図Ⅱ-10-1)

図Ⅱ-10-1 地域の中で困ったときに相談したり、頼ったりできる人〔複数回答〕

－平成23年度調査との比較



ア 地域の中で困ったときに相談したり、頼ったりできる人〔複数回答〕－地域別

区部、市町村部ともに、「親族」と「知人、友人」の割合が高く、5割以上

現在、住んでいる地域に、困ったときに相談したり、頼ったりできる人がいるかを地域別でみると、「親族」の割合は、区部 52.9%、市町村部 57.4%で最も高く、次いで、「友人、知人」の割合は区部 50.3%、市町村部 51.0%となっている。「親族」の割合は、市町村部の方が 4.5 ポイント高く、特に北多摩西部は 61.9%で、総数 (54.4%) に比べて 7.5 ポイント高くなっている。  
(表Ⅱ-10-1)

表Ⅱ-10-1 地域の中で困ったときに相談したり、頼ったりできる人〔複数回答〕－地域別

	総数	近隣住民	親族	友人、知人	の 保育所・幼稚園・学校の先生	子供の保育所・幼稚園・学校の保護者	民間サービスマスターなど	かかりつけ医師	民生委員・児童委員	区・市役所等の職員	社会福祉協議会の職員	の N P O ・ ボランテニア	その他	で相談したり、頼ったりできる相手がいない	無回答
総数	100.0 (5,944)	25.7	<u>54.4</u>	50.5	4.8	3.7	4.1	20.9	3.9	7.6	2.3	1.2	1.3	14.5	2.1
区部	100.0 (3,918)	24.2	<u>52.9</u>	<u>50.3</u>	4.6	3.6	3.8	21.8	3.6	7.5	1.9	1.0	1.5	15.0	2.0
区中央部	100.0 (378)	22.0	50.0	48.1	4.2	3.4	1.6	23.8	2.1	9.0	1.1	0.8	2.4	16.1	1.6
区南部	100.0 (444)	25.2	53.2	52.0	7.0	3.4	2.9	20.5	3.4	7.4	1.8	0.7	1.1	14.6	2.5
区西南部	100.0 (596)	26.7	48.7	50.3	4.2	3.4	5.2	22.1	4.4	6.5	2.0	0.8	1.3	15.8	3.0
区西部	100.0 (488)	23.8	44.7	47.1	6.4	4.5	4.7	25.8	3.7	7.2	1.6	1.6	1.6	18.6	1.6
区西北部	100.0 (783)	24.0	53.4	51.5	5.0	4.7	3.6	20.7	3.6	8.6	1.5	0.9	1.8	14.9	1.7
区東北部	100.0 (596)	22.5	58.9	49.8	4.0	2.2	3.5	20.0	3.0	7.6	2.3	1.2	1.2	11.4	1.3
区東部	100.0 (633)	25.0	58.3	51.5	2.5	3.6	3.9	21.2	4.3	6.3	2.5	0.8	1.1	14.4	2.5
市・町・村部	100.0 (2,026)	28.5	<u>57.4</u>	<u>51.0</u>	5.1	3.7	4.7	19.2	4.4	7.9	3.2	1.5	1.0	13.6	2.1
西多摩	100.0 (229)	31.0	59.0	55.0	3.5	3.9	6.1	17.5	7.0	9.6	3.1	-	1.3	13.1	3.9
南多摩	100.0 (758)	33.2	58.6	53.6	4.2	3.8	5.1	19.4	5.7	6.5	3.4	1.8	1.3	11.5	2.5
北多摩西部	100.0 (215)	27.4	<u>61.9</u>	50.2	7.0	3.3	1.4	19.1	2.3	6.5	3.3	1.4	0.5	10.7	1.9
北多摩南部	100.0 (435)	23.0	56.1	48.7	6.7	3.9	5.1	21.6	3.2	9.0	3.0	2.3	1.1	15.9	0.7
北多摩北部	100.0 (389)	24.4	53.0	46.8	5.1	3.3	4.4	17.2	3.1	9.5	2.8	1.0	0.5	17.2	1.8

イ 地域の中で困ったときに相談したり、頼ったりできる人〔複数回答〕一性・年齢階級別

「友人、知人」、「近隣住民」の割合は、女性の方が高く、「相談したり、頼ったりできる相談相手がいない」は男性の方が高い

現在、住んでいる地域に、困ったときに相談したり、頼ったりできる人がいるかを性別にみると、男性は「親族」の割合が 53.7%で最も高く、女性は「友人、知人」が 55.1%、「親族」が 55.0%となっている。

「友人、知人」の割合は、男性 45.0%、女性 55.1%で、女性の方が 10.1 ポイント高くなっている。また、「近隣住民」の割合は、男性 21.6%、女性 29.1%で、女性の方が 7.5 ポイント高くなっている。

一方、「相談したり、頼ったりできる相手がいない」の割合は、男性 17.1%、女性 12.3%で、男性の方が 4.8 ポイント高くなっている。(表Ⅱ-10-2)

表Ⅱ-10-2 地域の中で困ったときに相談したり、頼ったりできる人〔複数回答〕

一性・年齢階級別

	総数	近隣住民	親族	友人、知人	保育所・幼稚園・学校の先生	子供の保育所・幼稚園・学校の保護者	民間サービス事業者	ホームヘルパーなど	かかりつけ医師	民生委員・児童委員	区・市役所等の職員	社会福祉協議会の職員	NPO・ボランティアの人	その他	相談したり、頼ったりできる相手がいない	無回答
総数	100.0 (5,944)	25.7	54.4	50.5	4.8	3.7	4.1	20.9	3.9	7.6	2.3	1.2	1.3	14.5	2.1	
男	100.0 (2,718)	21.6	53.7	45.0	3.2	2.0	3.3	19.2	4.0	9.3	3.0	1.3	1.5	17.1	2.0	
20～29歳	100.0 (280)	11.8	57.9	66.4	5.0	0.7	0.4	5.7	0.7	4.3	1.4	0.7	1.4	15.7	1.4	
30～39歳	100.0 (368)	13.9	56.0	46.2	6.5	3.8	1.6	11.1	1.1	5.2	0.3	0.5	2.2	19.8	1.1	
40～49歳	100.0 (468)	17.9	52.6	45.1	6.2	4.5	1.3	13.5	2.1	4.9	1.7	0.9	1.1	21.8	1.5	
50～59歳	100.0 (453)	22.1	49.4	44.6	1.8	1.8	3.5	14.6	2.4	7.9	2.0	1.5	0.7	20.8	2.0	
60～69歳	100.0 (508)	23.8	49.8	40.9	1.0	1.0	2.8	23.2	3.0	12.2	3.9	1.8	1.6	16.5	2.0	
70～79歳	100.0 (409)	30.3	53.5	42.3	1.2	0.2	5.6	33.3	8.8	15.6	6.1	1.5	2.4	12.0	2.7	
80歳以上	100.0 (232)	32.3	64.2	31.9	1.3	1.3	10.8	35.3	13.4	15.5	6.5	2.6	0.9	8.6	4.3	
(再掲)65歳以上	100.0 (943)	29.4	55.0	38.3	1.2	0.6	5.9	31.5	8.0	15.2	5.4	1.8	1.5	12.6	2.9	
女	100.0 (3,226)	29.1	55.0	55.1	6.1	5.1	4.7	22.3	3.8	6.3	1.7	1.0	1.2	12.3	2.1	
20～29歳	100.0 (285)	10.2	57.2	61.8	4.9	2.5	1.1	8.8	0.4	2.5	0.4	1.1	0.4	16.8	2.1	
30～39歳	100.0 (448)	19.2	58.7	63.4	20.3	15.4	1.6	21.7	2.0	4.5	0.7	0.9	1.6	13.6	0.4	
40～49歳	100.0 (589)	25.5	49.9	58.6	11.9	11.7	2.4	16.0	1.7	5.4	0.5	0.7	1.4	15.8	0.3	
50～59歳	100.0 (478)	30.8	51.3	56.7	2.7	2.9	4.2	16.3	2.5	5.2	0.4	0.8	0.6	14.6	1.3	
60～69歳	100.0 (551)	35.8	51.7	56.3	0.9	0.5	2.4	22.1	2.9	7.8	2.5	1.6	2.0	10.7	2.2	
70～79歳	100.0 (526)	39.5	58.9	49.2	0.8	0.4	6.5	34.4	6.5	9.3	3.4	1.1	1.1	8.9	3.6	
80歳以上	100.0 (348)	35.1	61.2	38.5	0.3	-	17.2	35.6	11.2	7.5	4.3	0.9	0.9	5.5	5.7	
(再掲)65歳以上	100.0 (1,194)	37.9	57.8	47.9	0.4	0.3	8.5	32.4	7.2	8.3	3.5	0.9	1.3	8.3	3.9	

ウ 地域の中で困ったときに相談したり、頼ったりできる人〔複数回答〕－世帯類型（6歳未満の子供、要介護・要支援認定、障害者手帳取得者の有無、高齢者・母子・父子・その他の世帯）別

母子世帯では、「友人・知人」が7割

現在、住んでいる地域に、困ったときに相談したり、頼ったりできる人がいるかを世帯類型別にみると、「保育所・幼稚園・学校の先生」の割合は、6歳未満の子供がいる世帯では26.5%、母子世帯では18.9%で、それぞれ総数（4.8%）に比べて21.7ポイント、14.1ポイント高くなっている。また、「子供の保育所・幼稚園・学校の保護者」の割合は、6歳未満の子供がいる世帯では16.9%、母子世帯では13.5%で、それぞれ総数（3.7%）に比べて13.2ポイント、9.8ポイント高くなっている。

「友人、知人」の割合は、母子世帯では70.3%で、総数（50.5%）に比べて19.8ポイント高くなっている。一方、要介護・要支援認定を受けている人がいる世帯では、36.6%で、総数（50.5%）に比べて13.9ポイント低くなっている。

「ホームヘルパーなど民間サービス事業者」の割合は、要介護・要支援認定を受けている人がいる世帯では25.7%で、総数（4.1%）に比べて21.6ポイント高くなっている。

「かかりつけ医師」の割合は、要介護・要支援認定を受けている人がいる世帯が30.3%、障害者手帳取得者がいる世帯が29.6%、高齢者世帯が32.9%で、それぞれ総数（20.9%）に比べて高くなっている。（表Ⅱ-10-3）

表Ⅱ-10-3 地域の中で困ったときに相談したり、頼ったりできる人〔複数回答〕－世帯類型（6歳未満の子供、要介護・要支援認定、障害者手帳取得者の有無、高齢者・母子・父子・その他の世帯）別

		総数	近隣住民	親族	友人、知人	の先生 保育所・幼稚園・学校の	子供の保育所・幼稚園・学校の保護者	民間サービス事業者	ホームヘルパーなど	かかりつけ医師	民生委員・児童委員	区・市役所等の職員	社会福祉協議会の職員	NPO・ボランティアの人	その他	相談したり、頼ったりできる相手がいない	無回答
総数		100.0 (5,944)	25.7	54.4	<u>50.5</u>	<u>4.8</u>	<u>3.7</u>	<u>4.1</u>	<u>20.9</u>	3.9	7.6	2.3	1.2	1.3	14.5	2.1	
世帯類型別	子供の有無	6歳未満の子供がいる世帯	100.0 (520)	22.1	64.4	54.8	<u>26.5</u>	<u>16.9</u>	1.2	23.8	2.1	5.8	0.6	0.6	0.8	10.2	0.6
		6歳未満の子供がいない世帯	100.0 (5,378)	26.1	53.4	50.0	2.6	2.4	4.4	20.6	4.0	7.8	2.5	1.2	1.4	15.0	2.2
	要介護・要支援認定の有無	要介護・要支援認定を受けている人がいる世帯	100.0 (393)	29.0	55.5	<u>36.6</u>	2.0	1.3	<u>25.7</u>	<u>30.3</u>	9.4	11.7	5.1	2.8	1.3	11.2	4.3
		要介護・要支援認定を受けていない人がいる世帯	100.0 (5,364)	25.5	54.4	51.6	5.0	3.9	2.5	20.4	3.4	7.2	2.1	1.1	1.4	14.9	1.8
	手帳の有無	障害者手帳取得者がいる世帯	100.0 (604)	24.5	50.2	47.7	4.0	2.3	10.9	<u>29.6</u>	6.1	14.7	4.8	4.0	2.3	13.6	3.6
		障害者手帳取得者がいない世帯	100.0 (5,036)	25.6	55.0	50.6	4.8	3.8	3.2	19.8	3.6	6.8	2.0	0.8	1.3	14.8	1.8
	高齢者・母子・父子・その他の世帯	高齢者世帯	100.0 (1,336)	35.3	58.2	45.2	0.8	0.1	7.9	<u>32.9</u>	8.5	11.7	4.4	1.6	1.7	8.6	2.8
		母子世帯	100.0 (37)	21.6	62.2	<u>70.3</u>	<u>18.9</u>	<u>13.5</u>	8.1	21.6	2.7	5.4	2.7	-	5.4	2.7	-
		父子世帯	100.0 (6)	33.3	66.7	50.0	16.7	-	-	16.7	-	-	-	-	-	16.7	-
		その他の世帯	100.0 (4,333)	22.6	53.0	51.7	5.8	4.7	2.6	17.2	2.4	6.4	1.7	0.9	1.2	16.8	1.8

エ 地域の中で困ったときに相談したり、頼ったりできる人〔複数回答〕－居住開始時期別

居住開始時期が平成 27 年以降の人は、「近隣住民」の割合が 9.4%、「相談したり、頼ったりできる相手がいない」の割合が 24.2%

現在、住んでいる地域に、困ったときに相談したり、頼ったりできる人がいるかを居住開始時期別にみると、居住開始時期が平成 27 年以降の人は、「近隣住民」の割合が 9.4%で、総数（25.7%）に比べて、16.3 ポイント低くなっている。また、「かかりつけ医師」の割合は 10.0%で、総数（20.9%）に比べて 10.9 ポイント低くなっている。

一方、「相談したり、頼ったりできる相手がいない」の割合は 24.2%で、総数（14.5%）に比べて、9.7 ポイント高くなっている。（表Ⅱ-10-4）

表Ⅱ-10-4 地域の中で困ったときに相談したり、頼ったりできる人〔複数回答〕  
－居住開始時期別

	総数	近隣住民	親族	友人、知人	保育所の先生・幼稚園・学校の先生	子供の保育所・幼稚園・学校の保護者	民間サムヘルズ事業者	ホームヘルパーなど	かかりつけ医師	民生委員・児童委員	区・市役所等の職員	社会福祉協議会の職員	の N P O ・ ボランティア	その他	相談したり、頼ったりできる相手がいない	無回答
総数	100.0 (5,944)	<u>25.7</u>	54.4	50.5	4.8	3.7	4.1	<u>20.9</u>	3.9	7.6	2.3	1.2	1.3	<u>14.5</u>	2.1	
昭和19年以前	100.0 (186)	38.2	62.4	43.5	1.6	-	5.4	29.0	8.1	9.7	2.2	-	0.5	9.7	5.4	
昭和20年～29年	100.0 (231)	30.3	58.9	43.3	0.4	-	8.7	29.9	4.8	13.4	3.9	1.3	0.4	12.1	2.2	
昭和30年～39年	100.0 (272)	44.5	59.2	51.8	1.5	1.5	13.2	30.1	8.1	7.7	4.8	0.7	0.7	7.7	2.2	
昭和40年～49年	100.0 (439)	34.6	58.3	44.9	1.8	1.6	10.0	31.4	7.3	10.5	3.6	1.6	0.7	12.3	3.0	
昭和50年～59年	100.0 (522)	32.2	59.6	54.4	1.1	1.3	4.2	26.1	5.4	10.0	2.9	1.7	1.0	10.3	1.9	
昭和60年～平成6年	100.0 (667)	28.3	55.2	53.5	3.0	2.1	4.0	21.1	5.8	6.3	2.7	1.5	1.5	10.6	1.9	
平成7年～16年	100.0 (1,282)	25.9	55.1	53.4	3.9	3.7	2.6	20.0	2.8	7.1	2.0	1.3	1.6	13.3	2.1	
平成17年～26年	100.0 (1,814)	20.2	51.3	50.1	8.5	6.1	2.2	16.9	2.3	6.9	1.8	1.1	1.6	18.0	1.5	
平成27年以降	100.0 (459)	<u>9.4</u>	47.3	47.9	7.4	5.4	1.5	<u>10.0</u>	0.7	5.2	0.7	0.2	1.5	<u>24.2</u>	0.9	

オ 地域の中で困ったときに相談したり、頼ったりできる人〔複数回答〕－住宅の種類別

「近隣住民」の割合は、持家が 30.0%、借家・賃貸住宅等が 15.9%

現在、住んでいる地域に困ったときに相談したり、頼ったりできる人がいるかを住宅の種類別にみると、「近隣住民」の割合は、持家が 30.0%、借家・賃貸住宅等が 15.9%で、持家の方が 14.1 ポイント高くなっている。また、「親族」の割合は、持家が 58.4%、借家・賃貸住宅等が 45.4%で、持家の方が 13.0 ポイント高くなっている。

「相談したり、頼ったりできる相手がいない」の割合は、持家が 11.4%、借家・賃貸住宅等が 21.6%で、借家・賃貸住宅等の方が 10.2 ポイント高くなっている。(表Ⅱ-10-5)

表Ⅱ-10-5 地域の中で困ったときに相談したり、頼ったりできる人〔複数回答〕  
－住宅の種類別

	総数	近隣住民	親族	友人、知人	の 保 育 所 ・ 幼 稚 園 ・ 学 校	子 供 の 保 育 所 ・ 幼 稚 園 ・ 学 校 の 保 護 者	ホ ー ム ヘルパーなど 民間サービス事業者	か かり つけ 医 師	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	区 ・ 市 役 所 等 の 職 員	社 会 福 祉 協 議 会 の 職 員	の 人 N P O ・ ボ ラ ン テ ィ ア	そ の 他	で 相 談 し た り 、 頼 っ た り で き る 相 手 が い な い	無 回 答
総数	100.0 (5,944)	25.7	54.4	50.5	4.8	3.7	4.1	20.9	3.9	7.6	2.3	1.2	1.3	14.5	2.1
持家	100.0 (4,074)	30.0	58.4	52.5	4.7	3.8	4.5	23.0	4.1	7.7	2.3	1.3	1.1	11.4	2.1
持家(一戸建て)	100.0 (3,195)	32.5	59.7	52.5	4.5	3.5	4.9	23.1	4.3	7.7	2.4	1.2	0.9	10.7	2.2
持家(共同住宅)	100.0 (879)	21.0	53.6	52.8	5.3	4.7	2.8	22.4	3.4	7.7	1.9	1.5	2.0	14.0	1.7
借家・賃貸住宅等	100.0 (1,801)	15.9	45.4	46.1	5.1	3.4	3.2	16.3	3.3	7.7	2.4	0.9	1.7	21.6	1.8
民間賃貸住宅(一戸建て)	100.0 (107)	29.9	52.3	55.1	10.3	13.1	2.8	15.0	3.7	9.3	0.9	0.9	-	14.0	0.9
民間賃貸住宅(共同住宅)	100.0 (1,127)	13.0	41.8	46.9	4.6	2.9	1.9	14.8	3.0	7.5	2.2	0.9	2.2	23.8	1.4
都営・区市営の賃貸住宅や都市再生機構・公社などの公的賃貸住宅	100.0 (419)	21.0	55.4	40.6	4.5	2.1	8.1	21.5	4.8	8.6	4.1	1.2	1.2	16.2	3.6
社宅・公務員住宅などの給与住宅	100.0 (148)	13.5	39.9	49.3	6.8	3.4	-	13.5	1.4	4.7	-	0.7	0.7	25.7	0.7
間借り・その他	100.0 (53)	20.8	52.8	49.1	1.9	3.8	-	18.9	-	3.8	-	-	3.8	13.2	1.9

注) 住宅の種類別のうち、「高齢者向け住宅」については、回答がないため省略した。

## 2 災害時要配慮者への協力意向

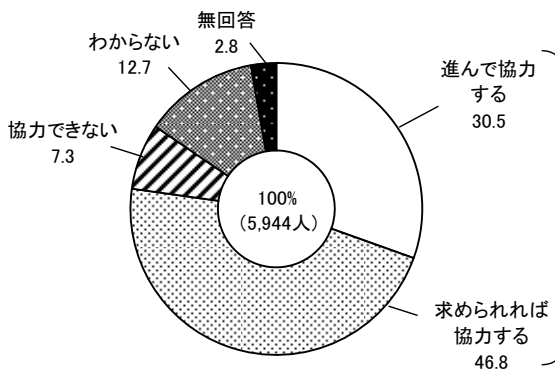
### (1) 災害発生時に要配慮者に対して協力できるか・協力できること

「進んで協力する」と「求められれば協力する」を合わせた割合は、8割弱

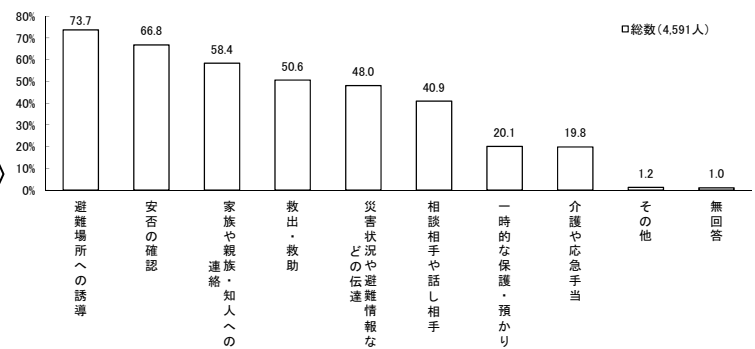
地域の中で災害が発生した場合、ひとりで避難することが困難な方（高齢者や障害者、乳幼児、妊産婦、外国人、病人・ケガ人など。以下「要配慮者」という。）に対して何らかの協力ができるかを聞いたところ、「進んで協力する」と「求められれば協力する」を合わせた割合は 77.2% で全体の 8割弱となっている。一方、「協力できない」は 7.3%となっている。

要配慮者に対して「進んで協力する」と「求められれば協力する」と回答した人（4,591人）にどのような協力ができるかを聞いたところ、「避難場所への誘導」が 73.7%で最も高く、次いで、「安否の確認」が 66.8%、「家族や親族・知人への連絡」が 58.4%となっている。（図Ⅱ-10-2、図Ⅱ-10-3）

図Ⅱ-10-2 災害発生時に要配慮者に対して協力できるか



図Ⅱ-10-3 災害発生時に要配慮者に対して協力できること〔複数回答〕



ア 災害発生時に要配慮者に対して協力できるかー性・年齢階級別

男女ともに「進んで協力する」と「求められれば協力する」を合わせた割合は、7割超

地域の中で災害が発生した場合、要配慮者に対して協力できるかを性・年齢階級別にみると、「進んで協力する」と「求められれば協力する」を合わせた割合は、男性78.9%、女性75.8%で、男女ともに7割を超えている。特に、男性30代～50代、女性20代～60代では8割を超えている。(表Ⅱ-10-6)

表Ⅱ-10-6 災発生時に要配慮者に対して協力できるかー性・年齢階級別

	総数	進んで協力する	求められれば協力する	協力できない	わからない	無回答
総数	100.0 (5,944)	30.5	46.8	7.3	12.7	2.8
男	100.0 (2,718)	32.7	46.2	5.7	12.8	2.5
		78.9				
20～29歳	100.0 (280)	35.0	43.6	4.6	15.4	1.4
30～39歳	100.0 (368)	39.7	45.9	3.0	10.3	1.1
		85.6				
40～49歳	100.0 (468)	34.0	49.1	3.2	12.0	1.7
		83.1				
50～59歳	100.0 (453)	32.0	49.4	3.1	13.5	2.0
		81.5				
60～69歳	100.0 (508)	27.0	51.8	5.7	12.4	3.1
70～79歳	100.0 (409)	34.7	44.3	5.6	11.2	4.2
80歳以上	100.0 (232)	26.3	29.3	22.0	18.1	4.3
(再掲)65歳以上	100.0 (943)	30.9	42.1	10.2	12.9	3.9
女	100.0 (3,226)	28.6	47.2	8.6	12.6	3.0
		75.8				
20～29歳	100.0 (285)	34.0	48.8	2.5	12.6	2.1
		82.8				
30～39歳	100.0 (448)	32.1	51.8	3.3	11.6	1.1
		83.9				
40～49歳	100.0 (589)	32.4	51.3	3.6	11.5	1.2
		83.7				
50～59歳	100.0 (478)	30.5	52.5	5.6	9.2	2.1
		83.1				
60～69歳	100.0 (551)	28.9	55.2	3.1	10.2	2.7
		84.0				
70～79歳	100.0 (526)	27.9	39.9	12.9	13.9	5.3
80歳以上	100.0 (348)	10.9	24.4	34.8	22.7	7.2
(再掲)65歳以上	100.0 (1,194)	22.9	39.1	16.7	16.2	5.2



イ 災害発生時に要配慮者に対して協力できるかー地域別

「進んで協力する」と「求められれば協力する」を合わせた割合は、区部 76.6%、市町村部 78.4%

地域の中で災害が発生した場合、要配慮者に対して協力できるかを地域別にみると、「進んで協力する」と「求められれば協力する」を合わせた割合は、区部 76.6%、市町村部 78.4%で、7割超となっている。(表Ⅱ-10-7)

表Ⅱ-10-7 災害発生時に要配慮者に対して協力できるかー地域別

	総数	進んで協力する	求められれば協力する	協力できない	わからない	無回答
総数	100.0 (5,944)	30.5	46.8	7.3	12.7	2.8
区部	100.0 (3,918)	30.6	46.0	7.8	12.7	2.9
		<u>76.6</u>				
区中央部	100.0 (378)	31.2	47.1	7.9	10.1	3.7
区南部	100.0 (444)	29.3	45.7	8.1	14.0	2.9
区西南部	100.0 (596)	31.9	46.3	6.4	11.7	3.7
区西部	100.0 (488)	30.7	45.7	8.6	12.5	2.5
区西北部	100.0 (783)	33.5	46.1	7.0	11.2	2.2
区東北部	100.0 (596)	28.4	43.8	9.4	15.9	2.5
区東部	100.0 (633)	28.6	47.6	7.6	13.3	3.0
市・町・村部	100.0 (2,026)	30.1	48.3	6.3	12.8	2.6
		<u>78.4</u>				
西多摩	100.0 (229)	32.3	45.4	4.8	13.1	4.4
南多摩	100.0 (758)	30.5	48.7	6.5	10.9	3.4
北多摩西部	100.0 (215)	31.6	46.5	4.7	14.4	2.8
北多摩南部	100.0 (435)	29.4	50.1	7.4	12.4	0.7
北多摩北部	100.0 (389)	28.0	48.1	6.4	15.7	1.8

ウ 災害発生時に要配慮者に対して協力できるか

－世帯類型（6歳未満の子供、要介護・要支援認定、障害者手帳取得者の有無）別

要介護・要支援認定を受けている人がいる世帯では、「協力できない」の割合が総数に比べて高く、3割以上

地域の中で災害が発生した場合、要配慮者に対して協力できるかを世帯類型別にみると、要介護・要支援認定を受けている人がいる世帯では、「協力できない」の割合が31.0%で最も高く、総数（7.3%）に比べて、23.7ポイント高くなっている。

また、手帳取得者がいる世帯では、「協力できない」の割合が15.4%で、総数（7.3%）に比べて、8.1ポイント高くなっている。（表Ⅱ-10-8）

表Ⅱ-10-8 災害発生時に要配慮者に対して協力できるか

－世帯類型（6歳未満の子供、要介護・要支援認定、障害者手帳取得者の有無）別

		総数	進んで協力する	求められれば協力する	協力できない	わからない	無回答	
総数		100.0 (5,944)	30.5	46.8	<u>7.3</u>	12.7	2.8	
世帯類型別	子供の有無	6歳未満の子供がいる世帯	100.0 (520)	38.8	47.9	3.8	8.5	1.0
		6歳未満の子供がいない世帯	100.0 (5,378)	29.6	46.7	7.6	13.2	2.9
	要介護・要支援認定の有無	要介護・要支援認定を受けている人がいる世帯	100.0 (393)	19.3	29.3	<u>31.0</u>	15.5	4.8
		要介護・要支援認定を受けていない人がいる世帯	100.0 (5,364)	31.3	48.1	5.5	12.6	2.4
	手帳の有無	手帳取得者がいる世帯	100.0 (604)	25.7	38.6	<u>15.4</u>	15.6	4.8
		手帳取得者がいない世帯	100.0 (5,036)	31.1	47.4	6.4	12.6	2.4

エ 災害発生時に要配慮者に対して協力できること〔複数回答〕－性・年齢階級別

男性は「救出・救助」の割合が6割超、女性は「相談相手や話し相手」の割合が4割超

要配慮者に対して「進んで協力する」と「求められれば協力する」と回答した人(4,591人)が協力できることを性別にみると、「避難場所への誘導」の割合が、男女ともに最も高く、男性77.4%、女性70.5%で、7割以上となっている。

また、「救出・救助」の割合は、男性64.9%、女性38.1%で、男性の方が26.8ポイント高くなっている。一方、「相談相手や話し相手」の割合は、男性32.3%、女性48.5%で、女性の方が16.2ポイント高くなっている。(表Ⅱ-10-9)

表Ⅱ-10-9 災害発生時に要配慮者に対して協力できること〔複数回答〕－性・年齢階級別

	総数	安否の確認	救出・救助	避難場所への誘導	家族や親族・知人への連絡	災害状況や避難情報などの伝達	預かり的な保護・	介護や応急手当	相談相手や話し相手	その他	無回答
総数	100.0 (4,591)	66.8	50.6	73.7	58.4	48.0	20.1	19.8	40.9	1.2	1.0
男	100.0 (2,145)	67.6	<u>64.9</u>	<u>77.4</u>	54.5	49.0	20.0	20.5	<u>32.3</u>	1.2	0.7
20～29歳	100.0 (220)	60.5	68.2	76.8	51.4	50.5	16.8	21.4	30.5	0.5	-
30～39歳	100.0 (315)	66.0	70.2	84.8	55.6	58.1	17.8	20.6	36.5	1.3	0.6
40～49歳	100.0 (389)	63.2	71.0	79.2	55.3	53.2	20.3	17.7	32.4	1.0	0.5
50～59歳	100.0 (369)	72.6	67.5	76.4	49.6	53.7	17.1	19.5	28.5	1.4	0.8
60～69歳	100.0 (400)	68.0	63.8	80.0	58.0	45.5	19.8	21.8	30.0	0.8	1.3
70～79歳	100.0 (323)	73.1	58.2	74.6	53.6	39.3	24.5	21.4	34.7	1.5	0.9
80歳以上	100.0 (129)	67.4	41.9	56.6	61.2	34.1	27.1	23.3	37.2	3.1	0.8
(再掲)65歳以上	100.0 (688)	71.1	56.4	73.5	57.6	41.1	24.3	21.7	33.9	1.6	0.9
女	100.0 (2,446)	66.1	<u>38.1</u>	<u>70.5</u>	61.9	47.1	20.3	19.1	<u>48.5</u>	1.2	1.2
20～29歳	100.0 (236)	62.7	41.1	78.0	63.1	55.5	12.3	20.8	48.7	0.8	-
30～39歳	100.0 (376)	66.2	44.1	75.0	66.5	58.2	24.2	25.0	52.4	1.1	0.5
40～49歳	100.0 (493)	65.9	46.9	81.5	60.4	55.6	17.0	18.3	43.8	1.8	1.2
50～59歳	100.0 (397)	68.8	36.3	72.0	63.2	51.4	18.4	20.9	46.6	0.3	0.3
60～69歳	100.0 (463)	66.5	34.6	69.3	56.8	36.7	22.2	17.5	47.3	1.3	2.4
70～79歳	100.0 (357)	66.4	32.2	57.7	65.5	34.2	26.9	16.8	54.9	0.3	0.8
80歳以上	100.0 (123)	61.8	14.6	35.0	55.3	24.4	16.3	8.9	46.3	5.7	4.9
(再掲)65歳以上	100.0 (740)	64.5	29.3	58.0	61.4	32.2	23.2	15.8	51.1	1.6	2.2

オ 災害発生時に要配慮者に対して協力できること〔複数回答〕－地域別

すべての地域において、「避難場所への誘導」の割合が高く、7割以上

要配慮者に対して「進んで協力する」と「求められれば協力する」と回答した人が協力できることを地域別にみると、すべての地域において、「避難場所への誘導」の割合が最も高く（70.7%～78.0%）、次いで「安否の確認」となっている（62.6%～72.8%）。特に、「南多摩」では、「安否の確認」の割合が72.8%で、総数（66.8%）に比べて6.0ポイント高くなっている。（表Ⅱ-10-10）

表Ⅱ-10-10 災害発生時に要配慮者に対して協力できること〔複数回答〕－地域別

	総数	安否の確認	救出・救助	避難場所への誘導	家族や親族・知人への連絡	災害状況や避難情報などの伝達	預かりの一時保護	介護や応急手当	相談相手や話し相手	その他	無回答
総数	100.0 (4,591)	<u>66.8</u>	50.6	73.7	58.4	48.0	20.1	19.8	40.9	1.2	1.0
区部	100.0 (3,003)	66.0	50.6	73.4	58.5	48.7	19.3	20.0	41.0	1.1	1.0
区中央部	100.0 (296)	<u>64.2</u>	48.6	<u>74.7</u>	59.1	50.7	20.6	20.3	38.5	2.4	1.0
区南部	100.0 (333)	<u>63.4</u>	52.6	<u>71.5</u>	58.0	45.3	14.7	19.8	40.5	0.9	0.6
区西南部	100.0 (466)	<u>67.4</u>	47.0	<u>74.0</u>	61.2	50.9	18.7	20.0	42.9	1.7	1.1
区西部	100.0 (373)	<u>69.2</u>	50.9	<u>74.8</u>	56.3	49.6	20.9	20.1	40.5	0.5	1.1
区西北部	100.0 (623)	<u>68.5</u>	55.4	<u>75.8</u>	58.7	52.5	21.0	21.3	41.7	0.8	1.0
区東北部	100.0 (430)	<u>62.6</u>	46.3	<u>70.7</u>	55.8	46.3	21.6	20.9	47.9	0.7	0.7
区東部	100.0 (482)	<u>64.7</u>	51.7	<u>71.8</u>	59.8	44.2	17.0	17.6	34.4	1.2	1.2
市・町・村部	100.0 (1,588)	68.3	50.6	74.3	58.3	46.7	21.7	19.2	40.7	1.4	1.0
西多摩	100.0 (178)	<u>65.7</u>	50.6	<u>77.5</u>	57.3	37.6	20.2	18.5	36.5	2.8	1.7
南多摩	100.0 (600)	<u>72.8</u>	52.5	<u>73.7</u>	64.0	50.0	22.0	20.2	45.3	1.5	1.5
北多摩西部	100.0 (168)	<u>63.1</u>	55.4	<u>78.0</u>	53.0	45.8	16.7	19.6	36.9	1.2	-
北多摩南部	100.0 (346)	<u>66.5</u>	48.3	<u>72.3</u>	55.8	43.4	20.5	18.5	38.4	1.7	1.2
北多摩北部	100.0 (296)	<u>65.9</u>	46.6	<u>74.0</u>	53.4	49.7	26.0	18.2	38.9	-	-

### 3 1年間に行った活動の状況と今後の活動意向

#### (1) 1年間に行った活動の状況

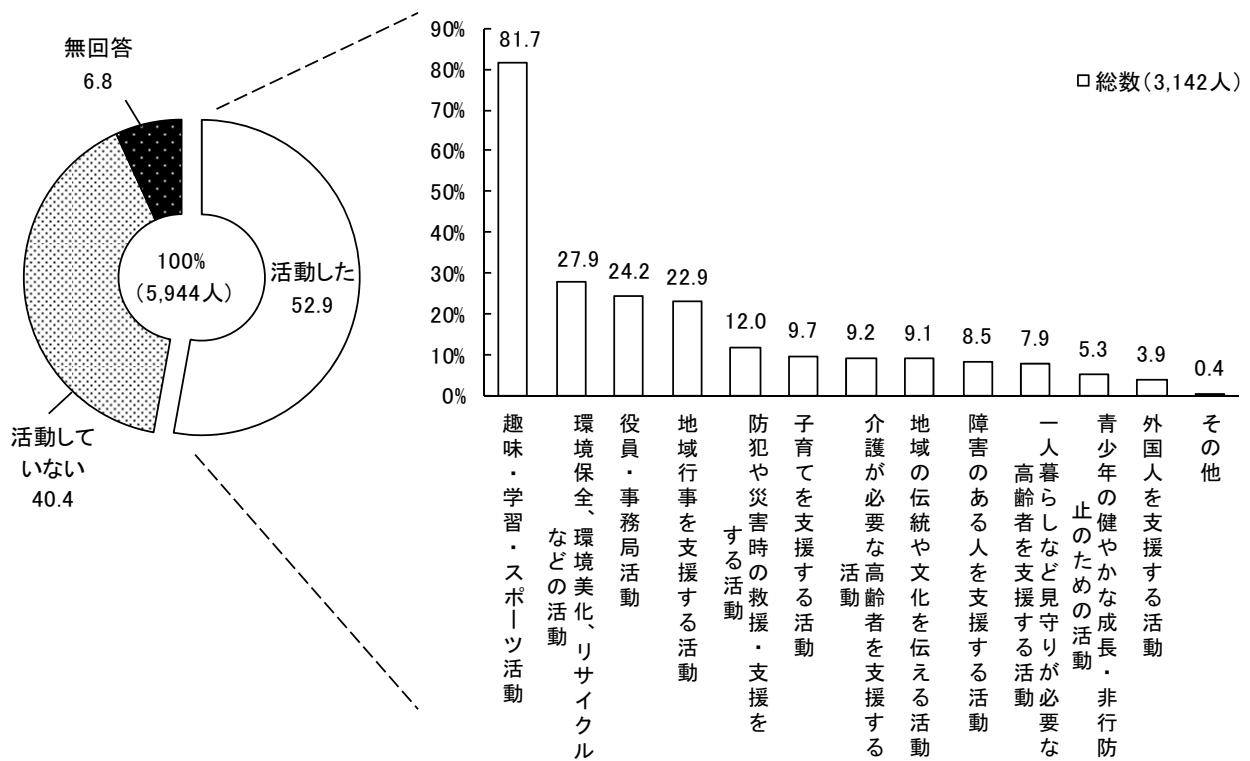
「活動した」人の割合は、52.9%

この1年間に行った活動状況について聞いたところ、「活動した」の割合は、52.9%、「活動していない」の割合は、40.4%となっている。

「活動した」人(3,142人)の活動の内容をみると、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が81.7%で最も高く、次いで「環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動」が27.9%、「役員・事務局活動」が24.2%、「地域行事を支援する活動」が22.9%となっている。(図Ⅱ-10-4、図Ⅱ-10-5)

図Ⅱ-10-4 1年間に行った活動の状況

図Ⅱ-10-5 1年間に行った活動内容〔複数回答〕



注) 図Ⅱ-10-5は、活動した人(3,142人)を総数として構成比を算出しているため、P232の構成比とは異なる。

ア 1年間に行った活動の状況〔複数回答〕－性・年齢階級別

男女ともに「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が最も高く、4割

この1年間に行った活動状況を性・年齢階級別にみると、「活動した」の割合は、男性50.5%、女性54.8%で、男女ともに5割となっている。特に30代の女性は61.4%で、6割となっている。

活動した内容を性・年齢階級別にみると、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が、男性41.6%、女性44.5%で、男女ともに最も高くなっている。また、70代では、男女ともに「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が最も高く（男性41.3%、女性45.4%）、次いで、「役員・事務局活動」（男性25.2%、女性24.0%）、「環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動」となっている（男性23.2%、女性20.5%）。（表Ⅱ-10-11）

表Ⅱ-10-11 1年間に行った活動の状況〔複数回答〕－性・年齢階級別

	総数	活動した															活動していない	無回答
		趣味・学習・スポーツ活動	役員・事務局活動	地域行事を支援する活動	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	地域の伝統や文化を伝える活動	防犯や災害時の救援・支援をする活動	高齢者を支援する活動	一人暮らしなど見守りが必要な高齢者を支援する活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	障害のある人を支援する活動	青少年の健全な成長・非行防止のための活動	子育てを支援する活動	外国人を支援する活動	その他			
総数	100.0 (5,944)	52.9	43.2	12.8	12.1	14.8	4.8	6.3	4.2	4.9	4.5	2.8	5.1	2.1	0.2	40.4	6.8	
男	100.0 (2,718)	50.5	41.6	11.7	12.2	13.4	5.5	7.7	3.2	3.3	4.0	3.2	3.9	2.2	0.3	43.5	6.0	
20～29歳	100.0 (280)	53.9	52.1	2.5	6.4	11.8	2.5	5.0	2.1	1.4	2.5	1.4	2.5	3.9	-	40.0	6.1	
30～39歳	100.0 (368)	57.9	51.4	4.9	9.0	9.8	4.3	4.3	1.1	1.9	4.1	3.0	5.2	3.3	-	38.9	3.3	
40～49歳	100.0 (468)	49.8	42.7	10.7	11.8	10.5	3.4	6.2	2.4	2.4	3.2	3.0	4.3	1.7	-	45.7	4.5	
50～59歳	100.0 (453)	49.0	39.7	11.0	12.1	12.6	6.4	8.4	1.5	3.5	5.7	3.5	3.3	2.4	0.2	45.9	5.1	
60～69歳	100.0 (508)	45.7	35.8	11.8	10.2	12.0	5.1	5.7	3.0	4.1	3.3	2.8	2.6	0.8	0.4	48.8	5.5	
70～79歳	100.0 (409)	55.5	41.3	25.2	21.5	23.2	9.3	14.4	7.1	4.4	3.9	5.4	5.9	1.7	0.5	36.7	7.8	
80歳以上	100.0 (232)	40.9	27.6	13.4	12.9	14.2	7.3	9.9	6.0	6.0	5.6	3.0	3.4	2.6	1.3	45.7	13.4	
(再掲)65歳以上	100.0 (943)	49.1	35.9	18.7	16.0	17.7	7.6	10.9	5.8	5.1	4.1	4.0	4.3	1.6	0.6	42.6	8.3	
女	100.0 (3,226)	54.8	44.5	13.7	12.1	15.9	4.3	5.2	5.0	6.2	4.9	2.4	6.2	2.0	0.2	37.8	7.4	
20～29歳	100.0 (285)	58.2	54.0	3.9	5.3	8.8	2.5	3.9	0.7	3.2	5.3	1.8	3.5	3.2	-	38.6	3.2	
30～39歳	100.0 (448)	61.4	54.2	7.1	12.5	12.5	3.3	3.6	1.6	2.9	1.8	2.0	8.7	1.8	-	35.9	2.7	
40～49歳	100.0 (589)	53.5	42.6	12.1	13.4	15.1	3.2	3.9	2.0	3.9	3.7	3.2	6.6	2.0	0.5	41.1	5.4	
50～59歳	100.0 (478)	57.9	45.2	12.8	8.6	20.3	3.1	4.4	6.1	10.3	6.5	1.7	5.4	2.1	0.4	38.1	4.0	
60～69歳	100.0 (551)	56.8	43.7	16.3	11.8	19.6	4.7	5.6	8.2	10.0	6.9	2.7	8.7	2.5	-	35.2	8.0	
70～79歳	100.0 (526)	56.7	45.4	24.0	18.8	20.5	8.6	10.1	9.9	7.0	6.7	3.4	5.9	1.9	-	31.7	11.6	
80歳以上	100.0 (348)	35.6	26.1	14.7	9.8	8.3	3.2	4.0	4.3	3.7	2.6	1.1	2.0	0.3	-	46.8	17.5	
(再掲)65歳以上	100.0 (1,194)	51.1	39.8	19.9	14.1	16.9	5.9	7.2	7.7	6.7	5.1	2.4	5.4	1.8	-	36.4	12.5	

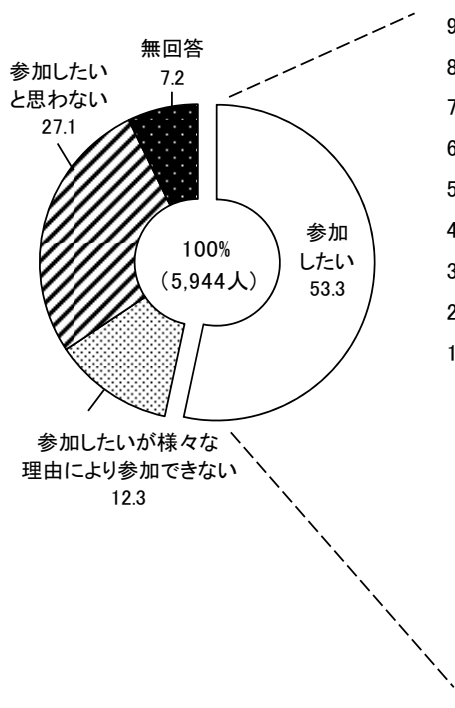
(2) 今後の活動意向

「参加したい」人の割合は、53.3%、「参加したいが様々な理由により参加できない」人の割合は12.3%

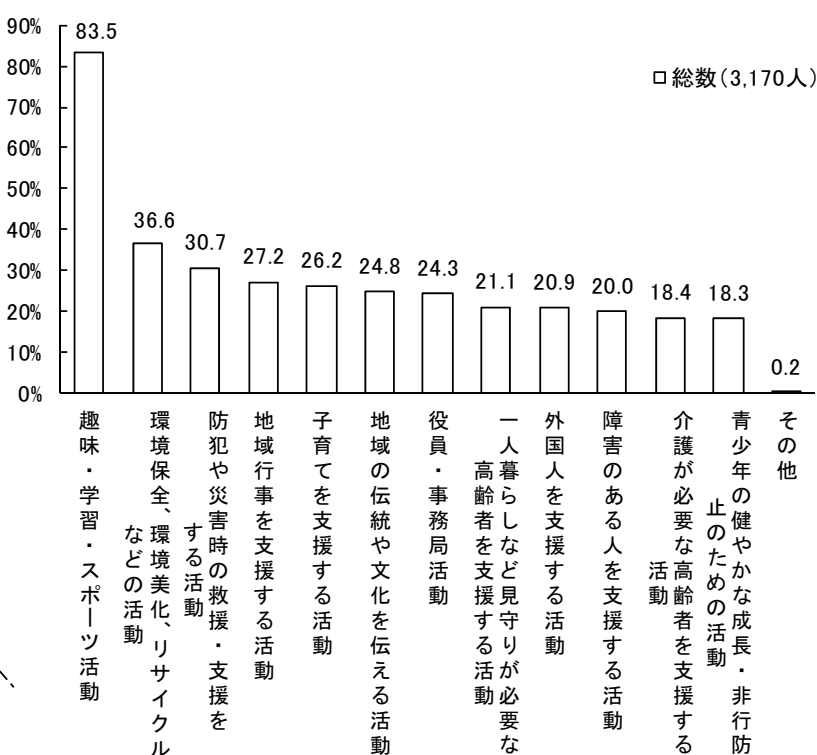
今後の活動意向について聞いたところ、「参加したい」の割合は53.3%、「参加したいが様々な理由により参加できない」の割合は12.3%、「参加したいと思わない」の割合は27.1%となっている。

「参加したい」人(3,170人)の活動の内容をみると、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が83.5%で最も高く、次いで「環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動」が36.6%、「防犯や災害時の救援・支援をする活動」が30.7%となっている。(図Ⅱ-10-6、図Ⅱ-10-7)

図Ⅱ-10-6 今後の活動意向



図Ⅱ-10-7 参加したい活動の内容〔複数回答〕



注) 図Ⅱ-10-7は、参加したい人(3,170人)を総数として構成比を算出しているため、P234の構成比とは異なる。

ア 今後の活動意向〔複数回答〕一性・年齢階級別

「参加したい」人の割合は、男女ともに5割以上

今後の活動意向を性・年齢階級別にみると、「参加したい」の割合は、男性51.1%、女性55.2%で、男女ともに5割以上となっている。特に、女性の30代は、72.1%で最も高く、7割となっている。

参加したい内容を性・年齢階級別にみると、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が、男性42.9%、女性45.9%で、男女ともに最も高くなっている。また、男性の70代では、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が39.6%で最も高く、次いで「環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動」、「防犯や災害時の救援・支援をする活動」がともに25.9%、「役員・事務局活動」が23.5%となっている。女性の70代では、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が41.1%で最も高く、次いで「環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動」が20.9%、「役員・事務局活動」が19.2%となっている。(表Ⅱ-10-12)

表Ⅱ-10-12 今後の活動意向〔複数回答〕一性・年齢階級別

	総数	参加したい	趣味・学習・スポーツ活動	役員・事務局活動	地域行事を支援する活動	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	地域の伝統や文化を伝える活動	防犯や災害時の救援・支援をする活動	高齢者や見守りが必要な活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	障害のある人を支援する活動	青少年の健全な成長・非行防止のための活動	子育てを支援する活動	外国人を支援する活動	その他	参加したいが様々な理由により参加できない	参加したいと思わない	無回答
総数	100.0 (5,944)	53.3	44.5	13.0	14.5	19.5	13.2	16.4	11.3	9.8	10.7	9.8	14.0	11.2	0.1	12.3	27.1	7.2
男	100.0 (2,718)	51.1	42.9	13.2	15.3	18.5	14.1	17.4	10.4	8.8	10.4	10.4	11.6	11.2	0.1	12.6	29.9	6.4
20～29歳	100.0 (280)	56.8	52.9	8.6	12.5	15.7	11.8	14.3	7.5	8.6	11.1	9.6	11.1	15.0	-	7.9	30.4	5.0
30～39歳	100.0 (368)	58.2	52.2	8.2	14.4	14.9	14.1	15.2	7.1	6.5	8.4	10.1	16.3	13.9	-	10.6	27.7	3.5
40～49歳	100.0 (468)	51.9	44.0	12.2	16.5	17.9	13.5	15.6	6.8	5.8	7.7	9.0	11.3	11.5	-	11.8	32.5	3.8
50～59歳	100.0 (453)	51.2	43.5	12.6	13.2	19.4	15.0	17.4	9.3	8.6	10.8	10.6	11.3	11.3	0.2	13.2	30.9	4.6
60～69歳	100.0 (508)	50.6	41.1	15.0	15.9	19.7	14.2	19.5	13.4	12.2	12.4	11.6	11.8	11.8	0.2	15.0	29.5	4.9
70～79歳	100.0 (409)	53.1	39.6	23.5	22.0	25.9	19.3	25.9	18.1	11.7	13.9	14.9	12.5	8.3	0.2	12.0	24.9	10.0
80歳以上	100.0 (232)	28.4	22.0	8.2	9.1	10.8	7.3	9.1	8.2	6.9	6.9	3.4	3.9	5.2	0.4	17.7	35.8	18.1
(再掲)65歳以上	100.0 (943)	45.9	35.0	17.6	17.3	20.5	15.1	20.5	14.8	11.1	12.2	11.6	10.3	8.9	0.2	14.2	29.6	10.3
女	100.0 (3,226)	55.2	45.9	12.8	13.8	20.4	12.5	15.5	12.0	10.6	10.9	9.3	16.0	11.1	0.1	12.2	24.7	7.9
20～29歳	100.0 (285)	63.9	56.8	6.3	14.4	19.3	15.4	17.2	10.9	11.2	13.7	12.3	19.3	19.3	-	7.4	24.9	3.9
30～39歳	100.0 (448)	72.1	60.5	10.5	17.9	22.3	15.4	19.0	9.6	9.2	9.8	10.7	25.4	16.3	-	6.0	19.0	2.9
40～49歳	100.0 (589)	58.4	47.5	11.7	13.6	21.4	12.9	18.5	10.0	8.3	10.7	10.4	17.5	14.4	0.3	12.4	24.1	5.1
50～59歳	100.0 (478)	56.1	48.7	12.1	11.5	23.8	12.6	18.0	16.3	15.1	14.9	11.7	18.2	12.6	0.2	14.2	25.9	3.8
60～69歳	100.0 (551)	55.2	43.9	14.5	13.4	22.0	13.8	15.2	15.8	14.9	12.7	10.3	16.5	9.3	-	14.0	23.6	7.3
70～79歳	100.0 (526)	49.8	41.1	19.2	15.8	20.9	11.8	13.9	13.3	10.1	10.1	6.7	10.8	5.3	-	12.2	22.6	15.4
80歳以上	100.0 (348)	28.2	21.8	11.2	9.2	9.2	4.6	4.0	5.2	3.7	3.4	2.0	2.3	1.7	-	17.8	35.9	18.1
(再掲)65歳以上	100.0 (1,194)	45.0	36.0	15.8	13.2	18.1	10.0	11.6	11.5	9.1	8.3	6.0	9.4	5.3	-	14.1	27.1	13.9



## 4 福祉人材対策

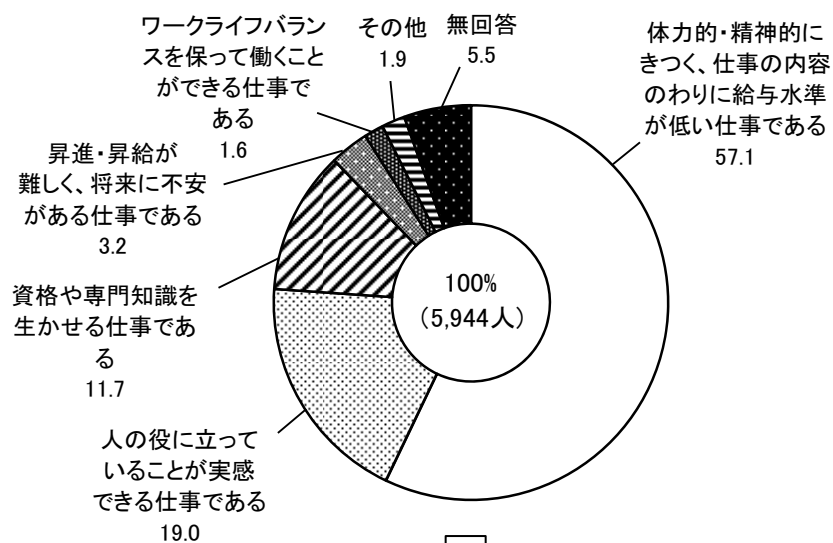
### (1) 福祉・介護の仕事に対するイメージとそのイメージを抱いた理由

「体力的・精神的にきつく、仕事の内容のわりに給与水準が低い仕事である」の割合が、5割超

福祉・介護の仕事に対するイメージを聞いたところ、「体力的・精神的にきつく、仕事の内容のわりに給与水準が低い仕事である」の割合が57.1%で最も高く、次いで、「人の役に立っていることが実感できる仕事である」が19.0%となっている。(図Ⅱ-10-8)

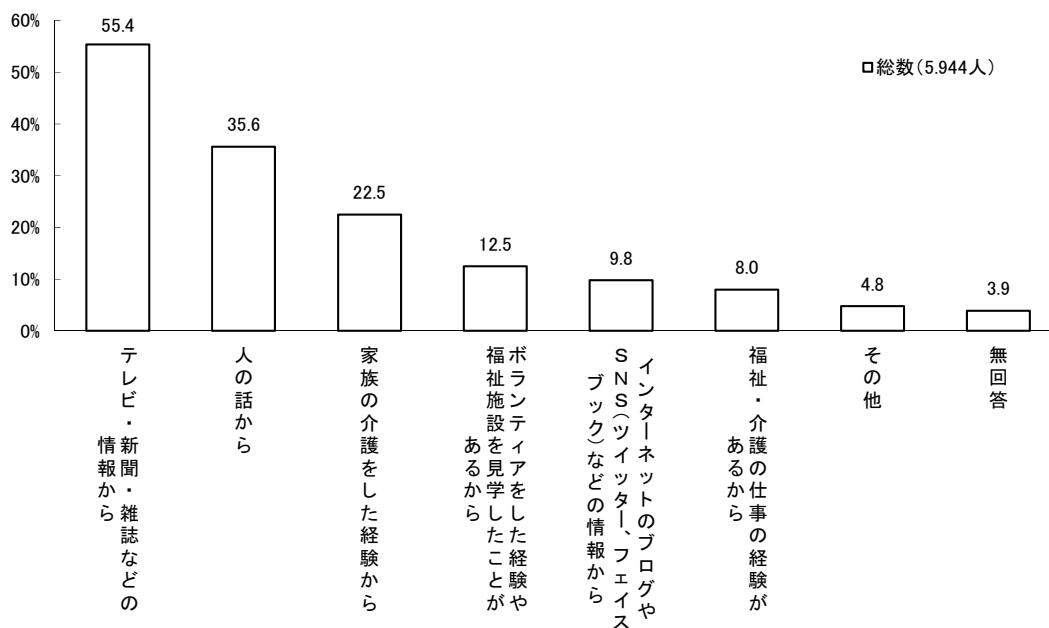
また、そのイメージを抱いた理由を聞いたところ、「テレビ・新聞・雑誌などの情報から」の割合が55.4%で最も高く、次いで「人の話から」が35.6%となっている。(図Ⅱ-10-9)

図Ⅱ-10-8 福祉・介護の仕事に対するイメージ



図Ⅱ-10-9 福祉・介護の仕事に対するイメージを抱

いた理由〔複数回答〕



ア 福祉・介護の仕事に対するイメージ性・年齢階級別

男女ともに70歳以上では、「人の役に立っていることが実感できる仕事である」の割合が、総数に比べて高く、約3割

福祉・介護等の仕事に対するイメージを性・年齢階級別にみると、男女ともに、「体力的・精神的にきつく、仕事の内容のわりに給与水準が低い仕事である」の割合が最も高く(男性58.1%、女性56.3%)、次いで「人の役に立っていることが実感できる仕事である」が高くなっている(男性18.1%、女性19.8%)。

また、70歳以上では、「人の役に立っていることが実感できる仕事である」の割合が約3割で、総数(19.0%)に比べて高くなっている。(表Ⅱ-10-13)

表Ⅱ-10-13 福祉・介護の仕事に対するイメージ性・年齢階級別

	総数	資格や専門知識を生かせる仕事である	働くことが出来る仕事を保つて	人の役に立っていることが実感できる仕事である	体力的・精神的にきつく、仕事の内容のわりに給与水準が低い仕事である	昇進・昇給が難しく、将来に不安がある仕事である	その他	無回答
総数	100.0 (5,944)	11.7	1.6	<u>19.0</u>	57.1	3.2	1.9	5.5
男	100.0 (2,718)	10.2	2.2	<u>18.1</u>	<u>58.1</u>	3.9	2.2	5.3
20~29歳	100.0 (280)	12.9	1.8	10.0	62.1	7.5	1.8	3.9
30~39歳	100.0 (368)	6.8	1.1	12.8	69.3	5.4	1.1	3.5
40~49歳	100.0 (468)	7.7	1.9	13.5	68.2	3.4	1.5	3.8
50~59歳	100.0 (453)	8.6	2.4	14.1	65.3	3.5	2.2	3.8
60~69歳	100.0 (508)	10.6	2.6	19.3	57.7	2.4	2.8	4.7
70~79歳	100.0 (409)	13.2	2.2	<u>29.1</u>	41.6	3.4	2.9	7.6
80歳以上	100.0 (232)	14.2	3.4	<u>31.5</u>	31.0	3.4	3.9	12.5
(再掲) 男 65歳以上	100.0 (943)	13.7	2.7	26.9	42.8	2.9	3.2	7.8
女	100.0 (3,226)	12.9	1.2	<u>19.8</u>	<u>56.3</u>	2.5	1.5	5.7
20~29歳	100.0 (285)	10.5	1.1	14.4	66.3	3.5	0.7	3.5
30~39歳	100.0 (448)	10.7	0.4	13.2	69.9	2.0	0.4	3.3
40~49歳	100.0 (589)	9.7	0.8	16.5	62.8	4.1	1.5	4.6
50~59歳	100.0 (478)	15.9	1.3	15.9	59.4	2.3	0.8	4.4
60~69歳	100.0 (551)	14.2	1.1	18.5	59.0	2.0	0.7	4.5
70~79歳	100.0 (526)	15.2	2.3	<u>29.1</u>	42.4	1.3	1.9	7.8
80歳以上	100.0 (348)	13.8	1.1	<u>31.6</u>	32.2	2.6	5.5	13.2
(再掲) 女 65歳以上	100.0 (1,194)	14.3	1.6	27.9	43.1	1.8	2.8	8.5

イ 福祉・介護の仕事に対するイメージ

－福祉・介護の仕事に対するイメージを抱いた理由〔複数回答〕別

「体力的・精神的にきつく、仕事の内容のわりに給与水準が低い仕事である」の割合は、人の話、テレビなどの情報、ブログやSNSなどの情報が理由となっている人では、総数に比べて高く、それぞれ6割超

福祉・介護の仕事に対するイメージを福祉・介護の仕事に対するイメージを抱いた理由別にみると、「人の役に立っていることが実感できる仕事である」の割合は、家族の介護（25.9%）やボランティアの経験（30.5%）が理由となっている人では、それぞれ総数（19.0%）に比べて、6.9ポイント、11.5ポイント高くなっている。

一方、「体力的・精神的にきつく、仕事の内容のわりに給与水準が低い仕事である」の割合は、人の話（67.7%）、テレビ・新聞・雑誌などの情報（66.9%）、インターネットのブログやSNS（ツイッター、フェイスブック）などの情報（77.1%）が理由となっている人では、それぞれ総数（57.1%）に比べて、高くなっている（9.8～20.0ポイント）。

福祉・介護の仕事の経験が理由となっている人では、「資格や専門知識を生かせる仕事である」の割合が20.6%で、総数（11.7%）に比べて、8.9ポイント高くなっている。（表Ⅱ-10-14）

表Ⅱ-10-14 福祉・介護の仕事に対するイメージ

－福祉・介護の仕事に対するイメージを抱いた理由〔複数回答〕別

	総数	資格や専門知識を生かせる仕事である	働くことができる仕事である	人の役に立っていることが実感できる仕事である	体力的・精神的にきつく、仕事の内容のわりに給与水準が低い仕事である	昇進・昇給が難しく、将来に不安がある	その他	無回答
総数	100.0 (5,944)	11.7	1.6	19.0	57.1	3.2	1.9	5.5
家族の介護をした経験から	100.0 (1,337)	12.5	1.8	25.9	53.8	2.4	0.8	2.8
福祉・介護の仕事の経験があるから	100.0 (476)	20.6	2.5	20.6	48.5	4.2	0.6	2.9
ボランティアをした経験や福祉施設を見学したことがあるから	100.0 (744)	11.8	2.4	30.5	50.5	2.2	0.4	2.2
人の話から	100.0 (2,119)	9.7	1.4	14.9	67.7	2.6	0.5	3.3
テレビ・新聞・雑誌などの情報から	100.0 (3,295)	9.4	1.2	15.4	66.9	3.7	0.5	2.8
インターネットのブログやSNS（ツイッター、フェイスブック）などの情報から	100.0 (580)	4.8	1.0	7.2	77.1	5.0	0.3	4.5
その他	100.0 (288)	11.5	1.7	16.0	41.3	2.1	25.7	1.7

ウ 福祉・介護の仕事に対するイメージを抱いた理由〔複数回答〕－性・年齢階級別

20代～30代の男性では、「インターネットのブログやSNSなどの情報から」の割合が、総数に比べて、10ポイント以上高い

福祉・介護の仕事に対するイメージを抱いた理由を性・年齢階級別にみると、男女ともに、いずれの年齢階級においても「テレビ・新聞・雑誌などの情報から」の割合が最も高くなっている（男性49.1%～64.5%、女性46.6%～56.9%）。

「インターネットのブログやSNS（ツイッター、フェイスブック）などの情報から」の割合は、20代～30代の男性（26.8%、22.0%）、20代の女性（19.3%）で、総数（9.8%）と比べて、それぞれ9.5～17.0ポイント高くなっている。また、女性の50代～70代では、「家族の介護をした経験から」の割合が総数（22.5%）に比べて高く、3割以上となっている（32.2%～42.6%）。（表Ⅱ-10-15）

表Ⅱ-10-15 福祉・介護の仕事に対するイメージを抱いた理由〔複数回答〕－性・年齢階級別

	総数	家族の介護をした経験から	福祉・介護の仕事の経験があるから	ボランティアをしたことがあるから	人の話から	テレビ・新聞・雑誌などの情報から	インターネットのブログやSNSなどの情報から	その他	無回答
総数	100.0 (5,944)	22.5	8.0	12.5	35.6	55.4	9.8	4.8	3.9
男	100.0 (2,718)	18.5	4.4	10.6	35.3	58.8	12.9	5.1	3.8
20～29歳	100.0 (280)	8.9	3.9	15.7	48.2	51.4	26.8	3.9	2.9
30～39歳	100.0 (368)	7.9	6.3	10.1	41.0	62.2	22.0	6.8	1.9
40～49歳	100.0 (468)	9.8	3.8	9.4	41.0	62.6	18.2	4.9	1.3
50～59歳	100.0 (453)	20.5	5.1	8.8	36.4	64.5	13.5	3.1	3.1
60～69歳	100.0 (508)	29.9	3.9	11.4	27.2	55.5	5.7	4.9	3.0
70～79歳	100.0 (409)	26.9	3.9	12.0	28.4	59.9	2.9	5.9	5.1
80歳以上	100.0 (232)	20.7	3.4	7.3	26.7	49.1	3.0	7.3	14.2
(再掲) 男 65歳以上	100.0 (943)	26.5	3.6	10.7	27.4	56.0	3.4	6.2	6.8
女	100.0 (3,226)	25.9	11.1	14.1	36.0	52.6	7.1	4.6	3.9
20～29歳	100.0 (285)	7.7	8.4	22.1	45.6	50.2	19.3	4.6	1.1
30～39歳	100.0 (448)	11.8	12.1	13.4	46.0	53.8	12.7	4.2	0.9
40～49歳	100.0 (589)	16.0	12.7	13.1	39.4	56.9	10.0	4.2	1.9
50～59歳	100.0 (478)	32.2	16.1	13.8	34.7	51.0	5.9	2.9	1.0
60～69歳	100.0 (551)	42.6	12.3	14.2	29.9	51.9	2.4	2.7	3.6
70～79歳	100.0 (526)	35.2	8.0	14.1	30.6	54.0	2.3	4.9	8.0
80歳以上	100.0 (348)	25.9	4.9	10.6	28.4	46.6	1.7	10.6	11.5
(再掲) 女 65歳以上	100.0 (1,194)	34.2	8.3	12.9	29.7	51.8	2.2	6.0	8.0

(2) 福祉・介護の仕事に対するマイナスイメージの改善方法〔複数回答〕

ア 福祉・介護の仕事に対するマイナスイメージの改善方法〔複数回答〕－性・年齢階級別

「給与水準の引き上げ、キャリアアップの仕組みの整備など雇用面での処遇改善」の割合が最も高く、7割超

福祉・介護の仕事に対するマイナスイメージの改善方法について聞いたところ、「給与水準の引き上げ、キャリアアップの仕組みの整備など雇用面での処遇改善」の割合が76.8%で最も高く、次いで「労働条件や職場環境に関する行政の適切な指導・監督」が57.8%となっている。

性・年齢階級別にみると、男女ともに、すべての年齢階級において、「給与水準の引き上げ、キャリアアップの仕組みの整備など雇用面での処遇改善」の割合が最も高く(男性61.6%～81.9%、女性61.2%～83.9%)、次いで、「労働条件や職場環境に関する行政の適切な指導・監督」となっている(男性48.3%～60.5%、女性45.7%～64.6%)。特に、男性の40代～60代、女性20代～50代では、「給与水準の引き上げ、キャリアアップの仕組みの整備など雇用面での処遇改善」の割合は、それぞれ総数(76.8%)に比べて高く、8割以上となっている(男性80.6%～81.9%、女性82.1%～83.9%)。(表Ⅱ-10-16)

表Ⅱ-10-16 福祉・介護の仕事に対するマイナスイメージの改善方法〔複数回答〕－性・年齢階級別

	総数	面での処遇改善	給与水準の引き上げ、キャリアアップの仕組みの整備	労働環境の改善	休暇制度の充実やICTの活用、介護ロボットの活用	テレビ・雑誌などの媒体を活用した広報	福祉・介護の創設事業所を認証・表彰する	働きやすい職場づくりに関する制度・サービスの創設	行政の適切な指導・監督	労働条件や職場環境に関する適切な指導・監督	その他	無回答
総数	100.0 (5,944)	<u>76.8</u>	35.1	23.1	37.2	<u>57.8</u>	4.1	5.5				
男	100.0 (2,718)	76.7	36.5	25.9	36.8	55.3	4.9	5.1				
20～29歳	100.0 (280)	<u>73.2</u>	36.1	24.3	41.1	<u>48.9</u>	5.0	4.3				
30～39歳	100.0 (368)	<u>79.9</u>	37.0	27.4	36.1	<u>55.4</u>	5.7	1.9				
40～49歳	100.0 (468)	<u>80.6</u>	34.6	27.8	34.6	<u>53.0</u>	4.1	2.1				
50～59歳	100.0 (453)	<u>81.9</u>	41.3	25.2	37.7	<u>60.5</u>	4.2	3.5				
60～69歳	100.0 (508)	<u>80.9</u>	40.0	20.7	34.8	<u>59.4</u>	4.9	4.9				
70～79歳	100.0 (409)	<u>69.4</u>	32.5	31.1	39.9	<u>55.5</u>	5.6	8.3				
80歳以上	100.0 (232)	<u>61.6</u>	29.7	25.4	33.6	<u>48.3</u>	5.6	15.1				
(再掲) 男 65歳以上	100.0 (943)	71.3	33.8	27.0	36.8	54.8	5.4	8.6				
女	100.0 (3,226)	76.8	34.0	20.8	37.5	59.8	3.3	5.8				
20～29歳	100.0 (285)	<u>82.1</u>	34.4	23.2	50.5	<u>58.6</u>	2.5	1.1				
30～39歳	100.0 (448)	<u>83.9</u>	31.3	22.5	43.1	<u>61.6</u>	3.8	1.8				
40～49歳	100.0 (589)	<u>82.7</u>	38.0	17.7	35.3	<u>59.4</u>	2.5	2.7				
50～59歳	100.0 (478)	<u>82.6</u>	37.2	20.5	38.9	<u>62.8</u>	2.1	2.7				
60～69歳	100.0 (551)	<u>76.4</u>	38.1	19.6	31.2	<u>64.6</u>	3.4	6.2				
70～79歳	100.0 (526)	<u>66.9</u>	32.3	23.0	35.6	<u>60.8</u>	2.7	11.6				
80歳以上	100.0 (348)	<u>61.2</u>	22.4	20.7	34.5	<u>45.7</u>	7.5	14.7				
(再掲) 女 65歳以上	100.0 (1,194)	67.4	31.2	21.7	34.2	57.5	4.4	11.1				